

令和元年12月

講習会・セミナーのご案内



一般財団法人日本建築センター

The Building Center of Japan

入門編

応用編

法令解説

技術セミナー

映像教材

木造
防火
耐火

新・技術セミナー「木材の燃焼～火災までのメカニズムをイメージして 木造の防・耐火性能等を視（み）える化しよう！」

「火災によって木造の柱梁及び壁はどのように燃え広がるのか？」を掘り下げて考えながら、RC造やS造に比べて火災に対して弱いといわれる木造の防耐火性能について視（み）える化しながら、「火災に負けない木造建築物をどのように造るか」を映像教材を使いながら分かりやすく解説します。（講師 安井 昇）

■「どのように木材が燃え火災発生となるのかを知る」から「火事に負けない木造建築をどのように造るかを視える化する」までがテーマです！

『木材は燃えるが燃え進む速度は意外に遅い』、『木材の燃焼面は燃えているが裏面は手で触れられるほど冷たい』、『住宅でのフラッシュオーバーの映像は多々あるが実際は持ち込み家具等の可燃物が燃えているだけ』、『木材が燃焼する条件は、①可燃物、②酸素、③熱（点火エネルギー）、どれかが欠ければ火災は起きない』等というように、設計者として、木材が燃焼するしくみと、どのようにすれば火災に強い木造建築を造ることができるか、発注者等（顧客）に分かりやすく納得できる説明を行うことが求められています。そのためには、「木造の防・耐火性能と火災安全の設計方法を視（み）える化」する事が重要です。

このセミナーでは、講義とビジュアル教材（ビデオ映像）を通して「木材の燃焼現象の本質」を理解していただくと共に「木造の防・耐火設計の専門でない方にも木材の燃焼のしくみや火災安全について分かりやすく説明するための知識やヒント」を学んでいただけます。

■こんな方に最適なセミナーです

「施主からは非木造で自社ビルをつくりたいと相談されたがどのように設計すればよいかわからない」という方
「意匠担当だが、施主等に対して木造でもS造やRC造と同様に安全な設計ができることを分かりやすく説明できるようになりたい」という方
「とにかく木造の防火性能について勉強したい」という方
「木造ビルの安全性について勉強したい」という方

■セミナーの概要

木材の燃焼現象から木造を中高層化するための高度な防耐火設計に至るまで、必ずしも木造の防耐火の専門家でない一般の方にもできるだけ理解しやすい講義と映像を使いながら、講師と受講者が一緒に納得しながら進行していくプログラムにより、木造の防・耐火性能を視（み）える化し、今後更に高層化、大規模化していく木造建築物の設計から維持管理に至るまでマネジメントしていくための基礎知識とヒントを実地に学んでいただく参加型のセミナーです。



講師プロフィール【安井 昇(やすい のぼる)氏】

所属等： 早稲田大学理工学術院総合研究所招聘研究員、
桜設計集団一級建築士事務所代表
専 門： 木造設計と建築防火
経 歴： 1968年、京都府出身。1999年桜設計集団一級建築士事務所設立、早稲田大学招聘研究員、東京都市大学非常勤講師。NPO法人木の建築フォーラム理事。受賞歴多数。博士（工学）



セミナーイメージ

主 催 一般財団法人 日本建築センター

※本セミナーは、(一社)日本建築構造技術者協会(JSCA)の建築構造士登録更新のための評価対象講習会(予定)です。詳細は、JSCAのHPを参照して下さい。

開催日	開催地	会 場	定員
令和元年12月10日(火)	東京	吉野石膏虎ノ門ビル／3階大会議室 東京都港区西新橋2-13-10	80名

時 間	内 容	講 師
10:00 ～ 12:00	1. 木材の着火性・発熱性を知る 2. 木造建築物の壁、軒裏、開口部の防耐火性能を知る	早稲田大学理工学術院総合研究所 招聘研究員 (桜設計集団一級建築士事務所代表) 安井 昇
12:00 ～ 13:00	昼 休 憩	
13:00 ～ 14:00	3. 室内を想定した内装の燃焼拡大、開口部の噴出火炎を視（み）る	
14:00 ～ 15:00	4. 木三共や木三学の実大火災実験を視（み）る	
15:00 ～ 16:00	5. 既の実現している中大規模木造(維持管理含む)を視（み）る	
16:00 ～ 17:00	6. 火事に負けない木造建築物をどのように造るか考えよう (最後に質問等)	

※プログラムは昼休憩以外の休憩を含みます。都合により、講師・プログラム内容等が変更になる場合があります。

受講料（税込。消費税10%）		備 考
一 般	17,000 円	＜参考書籍＞ 書籍名：木造建築物の防・耐火設計マニュアル-大規模木造を中心として- 発 行：一般財団法人 日本建築センター ※テキストではありませんが、講義の参考となるものです。 全国の書店又は（一財）日本建築センターで注文・購入できます。
情報交流会正会員	15,300 円	

※裏面のご入金方法をご確認の上、お申し込み下さい。

▲▲講習会申込書▲▲FAX : 03-5281-2828

防火視える化+20190730 (裏)

お申し込み手順・ご注意

1	「本申込書のFAX」又は「BCJ Webサイト : http://www.bcj.or.jp 」によりお申し込み下さい。定員に達し次第、受付を終了致します。	3	「複数の請求にかかる代金を一括してご入金される場合」や「申込内容を訂正される場合」は、事前下記問合せ先にご連絡下さい。入金確認後に【参加証】をFAXで送付致しますので、当日受付にご提出下さい。
2	【請求書】は集金代行会社が発行・郵送致しますが、10月に予定されております消費税率の変更に伴い、送付が遅れる場合があります。誠に申し訳ありませんが、予めご了承下さい。「1申し込みにつき1枚」発行しますので、請求書記載の期限内にお支払いをお願いします。	4	主催者側の都合によりセミナーが中止となった場合は、受講料を払い戻します(振込手数料は主催者が負担)。それ以外の理由による入金後のキャンセル、変更及び払い戻しは致しません。

◆問い合わせ先◆ 一般財団法人日本建築センター情報事業部 TEL : 03-5283-0477

新・技術セミナー「木材の燃焼～火災までのメカニズムをイメージして木造の防・耐火性能等を視(み)える化しよう！」

参加会場をお選び下さい (○印をご記入下さい) ▼		▼決済方法をお選び下さい (○印をご記入下さい) ▼		
令和元年12月10日(火)	東京	銀行振込 <small>振込手数料お客様負担</small>	コンビニ決済 <small>振込手数料不要</small>	ゆうちょ振替 <small>振込手数料不要</small>
受講料 (税込。消費税10%)		▼ 該当する金額欄に○印をご記入下さい		
費用	一般	17,000 円	参考書籍：木造建築物の防・耐火設計マニュアルー大規模木造を中心としてー ●参考書籍について ・テキストではありませんが、講義の参考となるものです。全国の書店又は(一財)日本建築センターで注文・購入できます。 ●上記「お申し込み手順・ご注意」をご一読下さい	
	情報交流会正会員	15,300 円		
参加者氏名 (フリガナ)		情報交流会 (正会員の方で料金の割引(正会員価格の適用)をご希望の方は、必ずご記入下さい。ご記入がない場合は、割引になりません。) 正会員番号 E -		
勤務先名 (請求書宛名)		部署名・役職名		
請求書送付先 (〒 -) 都道府県		申込担当者氏名 (参加者と同じ場合は記入不要です)		
電話番号 (日中に連絡がとれる番号をご記入下さい)		FAX番号 (こちらに参加証をお送りします)		
◆業種について、該当する番号を○印で囲んで下さい 1. 建設業 2. 設計事務所 3. 指定確認検査機関 4. 行政庁 5. 不動産業 6. 住宅メーカー・工務店 7. その他				
◆担当業務について、該当する番号を○印で囲んで下さい 1. 意匠 2. 構造 3. 設備 4. その他				
◆業務対象建築物の構造種別 (主なもの) について、該当する番号を○印で囲んで下さい 1. RC造 2. S造 3. 木造 4. その他				
◆担当業務経験年数について、該当する番号を○印で囲んで下さい 1. 1年未満 2. 1年以上2年未満 3. 2年以上5年未満 4. 5年以上10年未満 5. 10年以上20年未満 6. 20年以上				
◆建築関連資格について、該当する番号を○印で囲んで下さい 1. 一級建築士 2. 二級建築士 3. 木造建築士 4. 構造設計一級建築士 5. 設備設計一級建築士 6. 建築設備士 7. 該当なし				
◆講習内容に関する予備知識・経験について、該当する番号を○印で囲んで下さい 1. 初心者 2. 内容は概ね理解している 3. 業務等で使用している				
◆受講理由について、該当する番号を○印で囲んで下さい 1. 知識を深めるため 2. 会社の指示・社外研修 3. その他				

個人情報について

お預かりした個人情報は、本セミナーの受付、運営及び当財団のサービスに関する情報提供のために使用するとともに、個人情報保護法に基づき、適正に管理致します。請求書発送等の業務を外部に委託することがありますが、委託先につきましては、適切な事業者を選定し、秘密保持、安全管理等についての契約を締結して、適切な監督を行います。